

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者ふれあいの家支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	おおむね65歳以上の家に閉じこもりがちな市民	意図	心身ともに健やかな生活が送れるようにする。
事業内容	民家等を利用して、閉じこもりがちな高齢者が他の高齢者や子供たちとのふれあいができる場所を提供する個人・団体等を支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成15年度に市内2か所で「高齢者ふれあいの家」を開設。平成20年から29年までの間に19か所増設し、現在21か所で開催している。平成22年度から開設費用の助成、平成24年度から家賃に対する助成を開始した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	年間開催総数	4,214	4,528	5,365	回		
	市内設置場所	17	20	21	か所		
	年間利用者総数	57,144	60,093	71,619	人		
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年度1か所が増設となり、現在、市内21か所において様々な活動を展開し、高齢者同士のふれあいの機会を提供している。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,790,309	4,110,866	4,008,915			
事業費(b)(円)		3,639,709	3,973,566	3,874,675			
うち一般財源		3,639,709	3,973,566	3,874,675			
職員給与費(c)(円)		150,600	137,300	134,240			
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	未設置の小学校区（流山北、南流山）高齢化率が高い北部、東部地区を重点に開設に向け努めていく。	取組の課題	元気な高齢者を増やすため、歩いて通える身近な場所に高齢者ふれあいの家を開設していく必要がある。
今年度(H29)に実施した取組	流山小学校区に1か所開設し、市内21か所となった。	今後(H30以降)の改善計画	自治会、NPO法人、市民団体等に働きかけ未設置の小学校区（流山北、南流山）や高齢化率が高い北部・東部地区を重点に開設に向け努めていく。